

JDK ダウンロード&インストールガイド

●1. ダウンロード

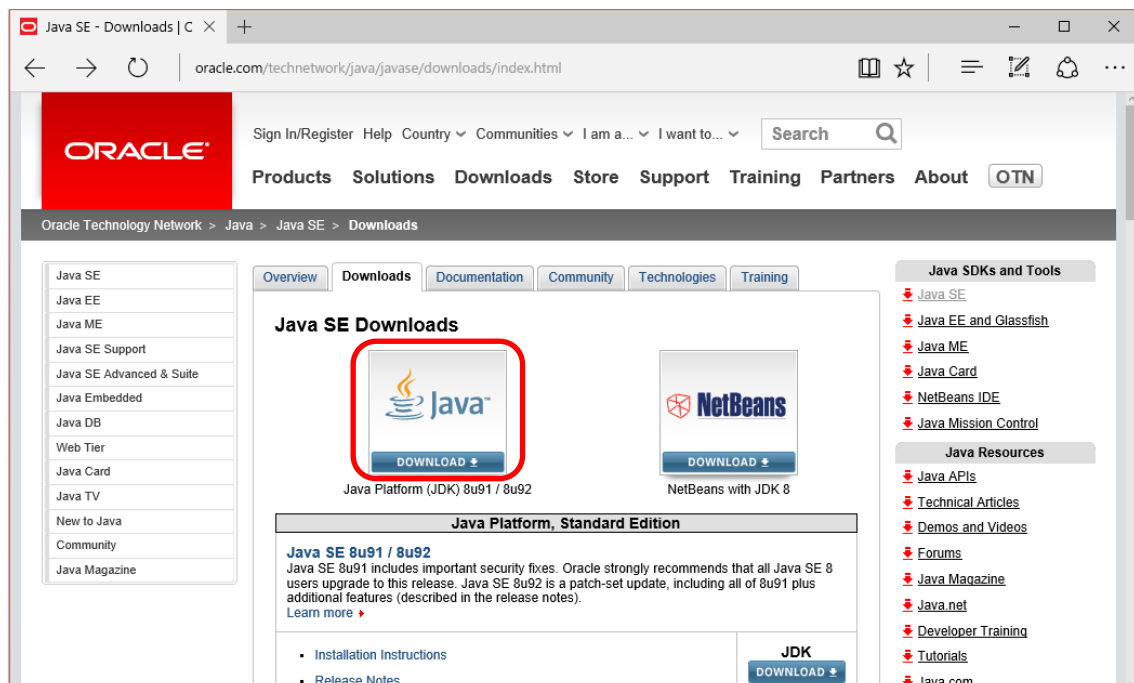
JDK (Java Development Kit) は Java で記述されたソースコードをコンパイルし、実行するためのプログラムです。JDK は、第 9 章で Java プログラムから PostgreSQL へ接続を行なう際に必要になります。第 1 章から第 8 章までの内容では、JDK は不要です。

以下の手順は、第 0 章で PostgreSQL のインストールが完了していることを前提としています。もしまだ PostgreSQL のインストールを実施していない場合は、先に PostgreSQL のインストールを行なってください。最新の JDK を入手するには、インターネットで Oracle 社のサイトにアクセスします。

<http://www.oracle.com/technetwork/java/javase/downloads/index.html>

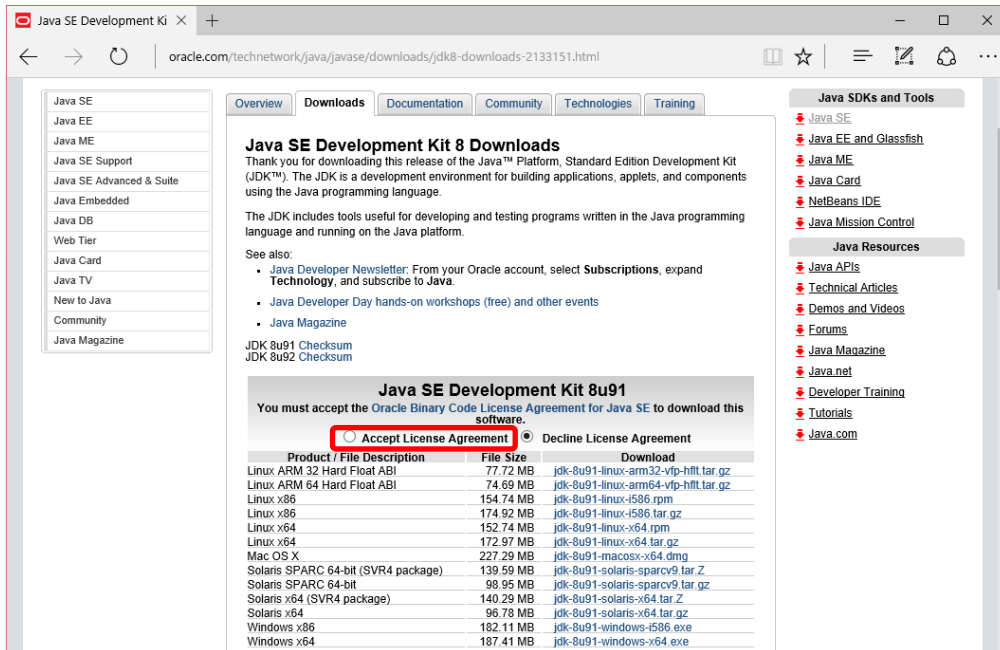
すると、図 1 のような画面が表示されるため、画面左中央の「Java DOWNLOAD」アイコンをクリックします。

▼図 1 JDK ダウンロードサイト



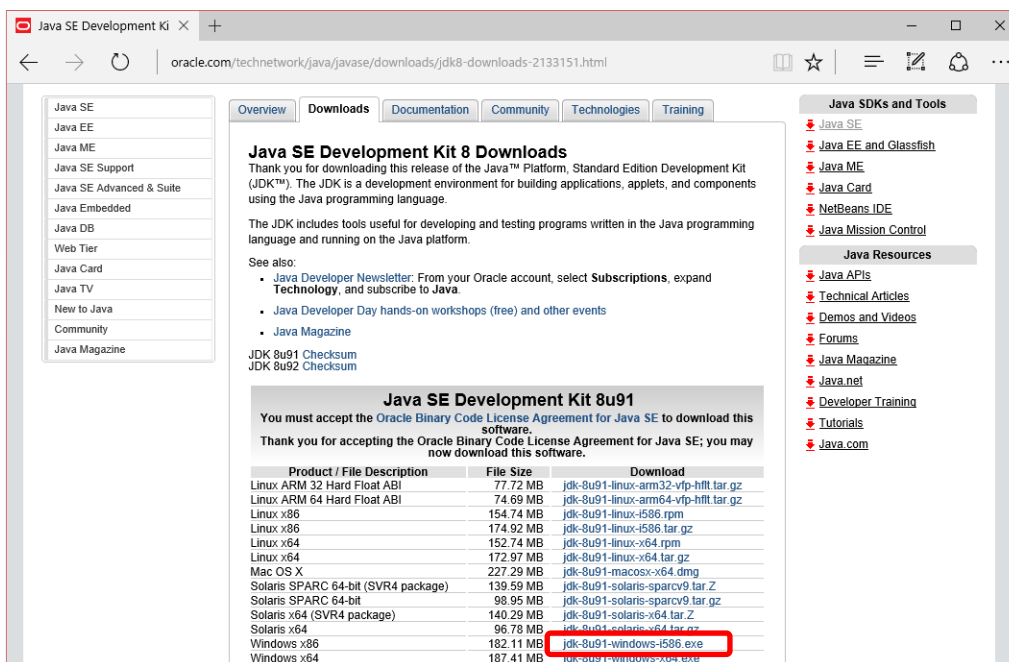
クリックすると、図 2 のようなダウンロード画面に遷移します。

▼図 2 JDK 選択画面



ここで「Accept License Agreement」に同意のチェックを入れると、JDK がダウンロード可能になります。今回は Windows 32 ビット版に対応した「Windows x86」の JDK をダウンロードするため、「jdk-8u91-windows-i586.exe」をクリックします (図 3)。32 ビット版の JDK は、Windows 32 ビットでも Windows 64 ビットでも動作します。

▼図 3 Windows x86 (32 ビット版) の jdk-8u91-windows-i586.exe をクリック

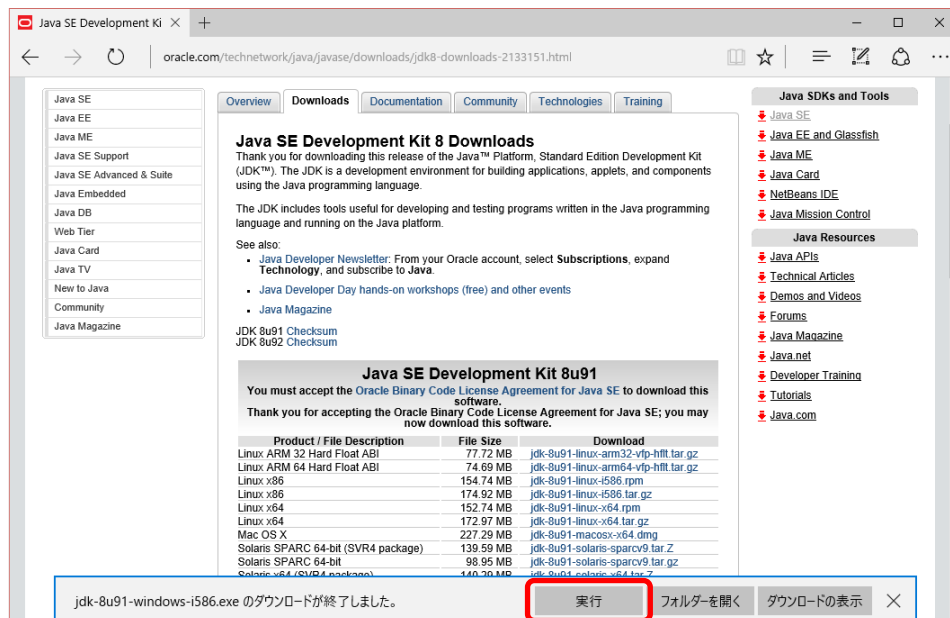


なお、この画面でダウンロード可能なファイルの名前は、JDK のバージョンアップが行なわれるたびに変わっていきます。常に最新版の「Windows x68」のファイルをダウンロードするようにしてください。

●2. インストール

ダウンロードが完了したら、ブラウザ下部に表示された実行ボタン（図 4）をクリック、または、ダウンロードした exe ファイルをダブルクリックします。すると、図 5 の画面が現われます。

▼図 4 「実行」をクリック



▼図 5 インストールウィザード



[次へ(N) >] ボタンをクリックします。すると、図 6 の画面が現われます。

▼図 6 インストールオプション



インストールするフォルダを変更するため、右下の [変更(C)...] ボタンをクリックすると、図 7 の画面が現われます。

▼図 7 インストールフォルダの指定



図 8 のように、「C:\PostgreSQL\java\jdk」に変更し、[OK] ボタンをクリックします。すると、図 9 のようにインストールフォルダが変更されます。「C:\PostgreSQL\」フォルダは、第 0 章の手順に従って、PostgreSQL をインストールしていれば、すでに作成されています。

▼図 8 インストールフォルダの変更



▼図 9 インストールフォルダ変更後



[次へ(N) >] ボタンをクリックすると、インストールファイルの準備がはじまります (図 10)。

▼図 10 インストールファイルの準備



準備が終了すると、もう 1 つ別のウィンドウ（図 11）が現われます。

▼図 11 コピー先の指定



ここではそのまま [次へ(N) >] ボタンをクリックします。すると、図 12 の画面が表示されてインストールが開始されます。

▼図 12 インストール



インストールが完了すると、図 13 の画面が表示されます。

▼図 13 インストールの完了



これで JDK のインストールが完了です。[閉じる(C)] をクリックしてください。